

図版編目次

図 面

- Pl.
1 遺構実測図の割付図
2～16 遺構実測図1～15
17 東面回廊SC060部材出土状況(第3～第13間)
18 回廊礎石実測図
19 東面回廊SC060の北扉口SX666と階段SX668
20 東面回廊SC060の北暗渠SX670
21 南面回廊SC050の東暗渠SX700
22 金堂SB010西面階段
23 灯籠SX012と瓦敷
24 講堂SB100の礎石と地覆石
25 南門南方の基幹排水路SD625B石積み
26 東面大垣東方の基幹排水路SD531石積み
27 中世の井戸実測図

原色写真

Color Ph.

- 1 (上) 山田寺金堂 (下) 山田寺の復元整備
2 (上左) 銅板五尊像 (上右) 鍍金押出仏
(中左) 黒漆塗り金箔貼り十二尊連坐塼仏 (中右) 金製瓔珞
(下) 火災をうけた十二尊連坐塼仏
3 塼仏各種
4 (上左) 金堂壁面断片 (中左) 垂木先瓦の中房飾金具
(上・中右) 彩色を施した垂木先瓦 (下) 施釉陶器各種

5	朱線及び朱書の軒平瓦 1
6	朱線及び朱書の軒平瓦 2
7	漆塗り木製品の塗膜断面顕微鏡写真
8 (上)	金属製品の顕微鏡写真 (下) 壁土の顕微鏡写真

写 真 (図面对向)

Ph.

1	山田寺調査区全景 (航空写真合成)
2	伽藍中枢部全景 (航空写真合成)
3～5	回廊内瓦敷 1～3
6	中門SB003と周辺
7～19	東面回廊SC060 (第5次) 1～13
20・21	東面回廊SC060 (第4次南区) 1・2
22～27	東面回廊SC060 (第6次南区) 1～6
28・29	東面回廊SC060 (第4次北区) 1・2
30・31	東面回廊SC060 (第8次東区) 1・2
32～36	南面回廊SC050 (第10次) 1～5
37	北面回廊SC080 (第2次)
38・39	北面回廊SC080 (第3次) 1・2
40・41	回廊礎石 1・2
42～46	金堂SB010 1～5
47～50	塔SB005 1～4
51～54	回廊内のその他の遺構 1～4
55・56	講堂SB100 1・2
57・58	宝蔵SB660 1・2
59～64	南門及び南面大垣と周辺 1～6
65・66	東面大垣SA500と周辺 (第4次北区) 1・2
67	東面大垣SA500と周辺 (第8次東区)
68・69	東面大垣SA500と周辺 (第9次) 1・2
70・71	北面大垣SA570と周辺 1・2

72	西門SB685と西面大垣SA680
73	東面大垣SA500東方
74	7世紀と中世の遺構
75	中世の井戸
76～81	木 簡 1～6
82・83	主要軒瓦の組み合わせ 1・2
84・87	軒丸瓦 1・2
85・86	軒丸瓦細部写真 1～4
88・89	
90	軒丸瓦 3
91・92	軒平瓦 1～4
94・96	
93・95	軒平瓦細部写真 1～6
97～100	
101・102	軒平瓦 5～8
104	
103・105	軒平瓦細部写真 7～10
～107	
108～110	軒平瓦 8～10
111～114	軒平瓦細部写真 11～14
115・117	軒平瓦 11～15
～121	
116・121	軒平瓦細部写真 15～20
～125	
126・127	軒平瓦 16・17
128～132	丸 瓦 1～5
133	丸瓦細部写真
134～169	平 瓦 1～36
170～173	垂木先瓦 1～4
174・175	垂木先瓦細部写真 1・2
176・179	螻羽瓦細部写真 1～3
181	
177・178	螻羽瓦 1～4
180・182	
183・184	面戸瓦 1・2
185～188	熨斗瓦 1～4

創立50周年記念

奈良文化財研究所学報第63冊

山田寺発掘調査報告

図 版 編

189	雁振瓦
190	箱形瓦細部写真
191・192	平瓦を加工した道具瓦 1・2
193・195 197	鴟尾 1～3
194・196 198・201	鴟尾細部写真 1～4
199・200 202・203	鴟尾 4～7
204・205	鬼瓦 1・2
206	鬼瓦細部写真
207	鬼瓦と隅木蓋瓦及び用途不明品
208～212	文字・ヘラ記号瓦 1～5
213	塼・土管ほか
214～220	土器 1～7
221～225	塼 仏 1～5
226	塼仏・泥塔
227～232	木製品 1～6
233～239	金属製品 1～7
240	銭貨
241	白鶴美術館蔵 銅板五尊像
242	銅板五尊像と押出仏
243・244	鑄造関係土製品 1・2
245	石製品ほか
246～256	建築部材 1～11
257～259	建築石材 1～3
260	塼仏及び銅板仏関連参考作品

付 図 (巻末袋入り)

1	山田寺遺構全図
2	山田寺主要土層断面図

凡 例

- 1 遺構は図面をPl. (plan, plate) 番号、写真をPh. (photo-graph) 番号で示した。遺物は写真をPh. 番号で示し、図面を基本として対向させた。
- 2 1/200の遺構図面 (Pl. 2～16) の割付図は、Pl. 1に示した。
- 3 遺構図面には国土方眼座標第IV系にもとづく座標値を示した。
- 4 遺構には一連の番号をつけ、その前にSA：築地・堀、SB：建物、SC：廊、SD：溝、SF：道路、SK：土坑、SS：足場穴、SX：その他などの分類表記を付記した。
- 5 瓦塼類の写真 (Ph. 82～213) は、軒丸瓦、軒平瓦、丸瓦、平瓦、各種道具瓦などの順で、種類ごとに製作技法や範傷の進行状況を示す資料を細部写真として挿入した。
- 6 木製品及び建築部材の実測図の断面にしめす線は、木材の年輪を模式的にあらわしている。